

JETRO

Japan External Trade Organization

Japan External Trade Organization

河南省、鄭州市概況

日本貿易振興機構（ジェトロ） 武漢事務所

2015年8月

【免責条項】

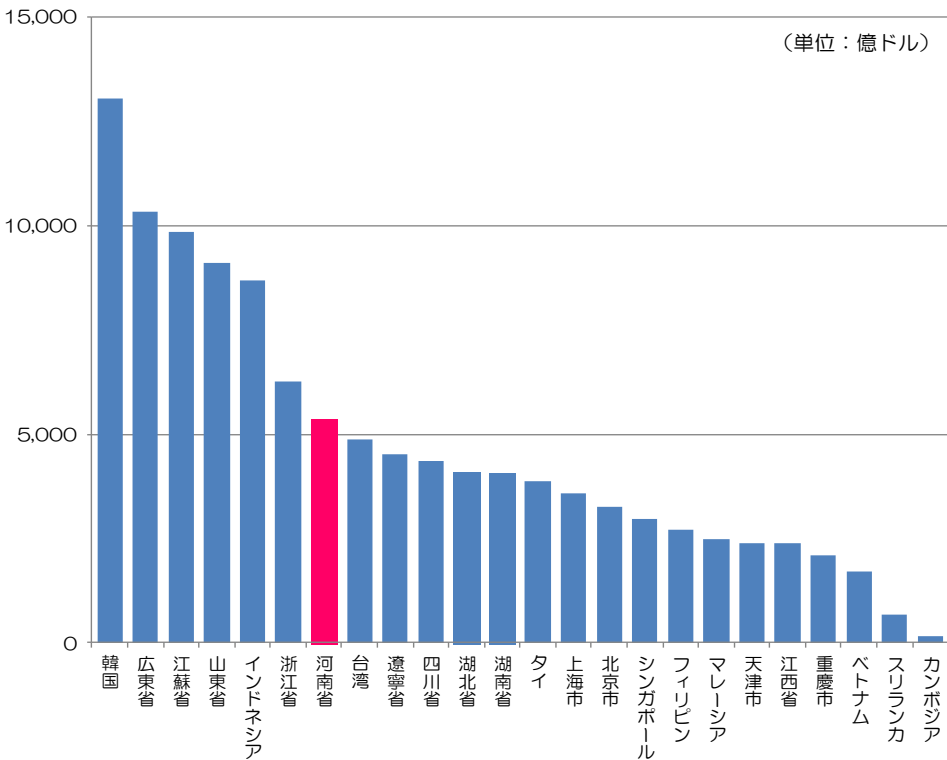
本資料で提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用下さい。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、万一、本資料で提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロは一切の責任を負いかねますので、ご了承下さい。

「禁無断転載」

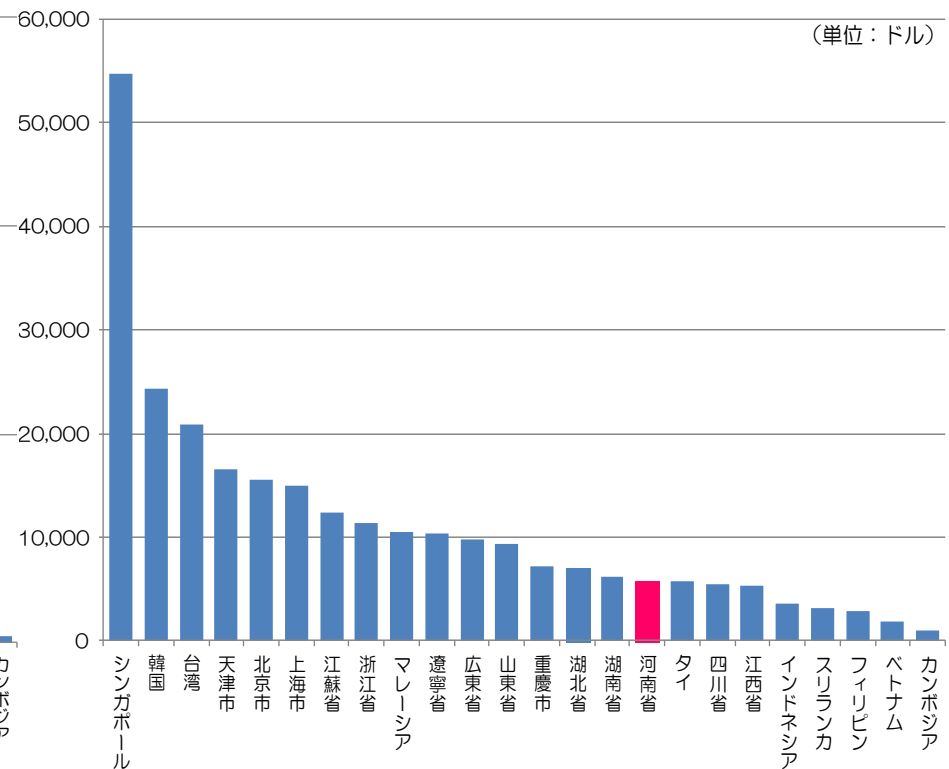
中国主要省市とアジア諸国のGDPと1人当たりGDP（2013年）

- 広東省、江蘇省及び山東省のGDPは、ASEANで最大のGDPを誇るインドネシアを超えた。他の中国の主要省市のGDPもASEAN諸国の1国のGDPに匹敵する規模。
- 1人当たりGDPでは、沿岸部の省市の1人当たりGDPは1万ドル前後で、マレーシアやタイ、インドネシアを上回る。河南省もタイを上回る。

GDP（2013年）



一人当たりGDP（2013年）



(注) 中国の省・自治区・直轄市のGDPは、「中国統計年鑑2013」を基に1 USD=6.007RMBで試算。中国以外の国、地域（台湾含む）はジェットロWEBで公開している名目GDP。

(出所：「中国統計年鑑2014」、ジェットロWEBから作成)

河南省の概況①



●中原と称された華夏文明、中華民族発祥の地として知られる。元代以前には多くの王朝がこの地を都とし、商丘、開封、洛陽、鄭州等多くの有名な古都が存在する。省都は鄭州市。河南省は全国でも有数の食糧（穀類、イモ類、豆類）生産地域で、その生産量は全国の10%を占めるほか、油、肉類、綿花などの生産量も全国で上位、農業大省といわれる。また、鉱物資源や石油、石炭、天然ガスが多く埋蔵されているため、電力・ガスに関わるエネルギー産業も盛んである。

●14年のGDPは前年比9.0%増の3兆4,939億元。社会消費品小売総額は1兆3,836億元、全国で5位。中国で3番目に人口が多い。

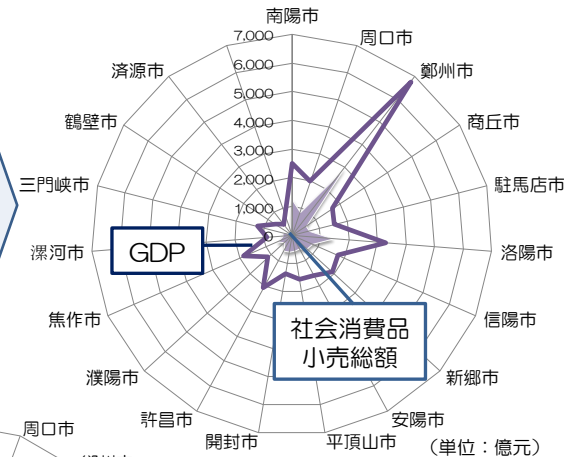
●主要産業は化学工業、非鉄金属工業、アパレルと鉄鋼産業。また高エネルギー、自動車、電子情報、設備製造業、食品産業、軽工業と建材工業の6つの重点産業の育成に取り込む。

●既に進出している大手外資企業には、米国バドワイザー、日産自動車、NTN、パナソニック、日本ハム、フォックスコンなどがある。河南省にある日系企業数は103社（2014年）、うち省都鄭州市には41社。

| 2014年経済指標 | 単位 | 河南省 | 対前年増減 | 鄭州市 | 対前年増減 | 河南省に占める鄭州市の割合 |
|------------------|------------------|--------|-------|--------|-------|---------------|
| 面積 | 万km ² | 16.7 | — | 0.7 | — | 4% |
| 常住人口 | 万人 | 9,436 | — | 938 | — | 10% |
| GDP | 億元 | 34,939 | 9% | 6,783 | 10% | 19% |
| うち第一次産業 | 億元 | 4,161 | 4% | 150 | 3% | 4% |
| うち第二次産業 | 億元 | 17,903 | 10% | 3,771 | 10% | 21% |
| うち第三次産業 | 億元 | 12,876 | 9% | 2,862 | 9% | 22% |
| 社会消費品小売総額 | 億元 | 13,836 | 13% | 2,914 | 13% | 21% |
| 都市住民1人当たり可処分所得 | 元/年 | 24,391 | 9% | 29,095 | 9% | 119% |
| 貿易額 | 億ドル | 649 | 8% | 464 | 9% | 72% |
| うち輸出 | 億ドル | 393 | 8% | 267 | 6% | 68% |
| うち輸入 | 億ドル | 256 | 6% | 198 | 12% | 77% |
| 外国投資額 (実行ベース) | 億ドル | 149 | 11% | 36 | 9% | 24% |

(出所：統計公報 1USD=6.157元にて試算)

河南省の鄭州市がGDP、社会消費品小売総額に占める割合が突出して高い。次いで洛陽市、南陽市の順。



河南省の概況②

中原経済圏を率いる河南省

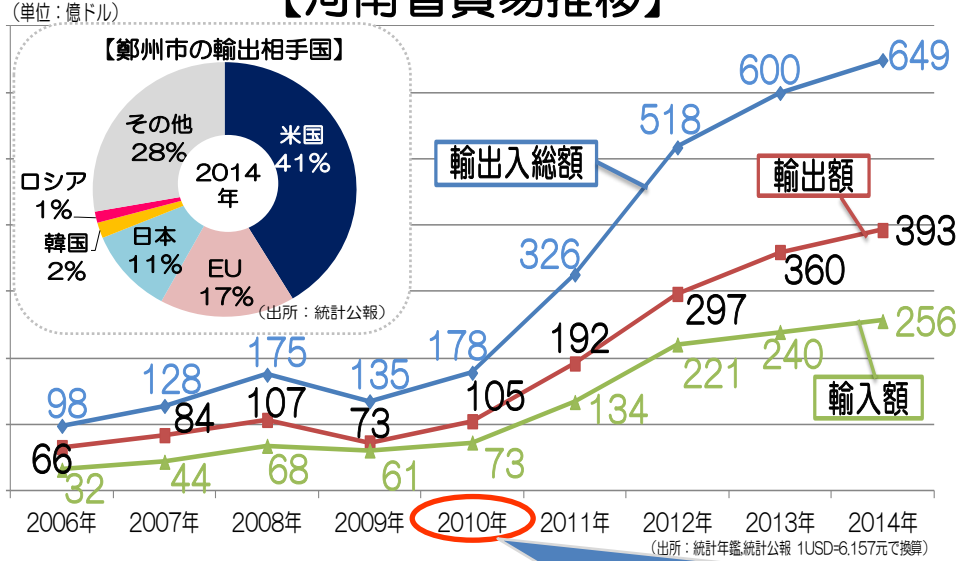
●中原経済圏は、河南省が主体となって推進する地域経済圏構想。河南省全域、河北省、山東省、山西省、安徽省の一部を加えた経済圏である。同構想は、12次5ヵ年規画の中にも明記され、国策として同地域の経済圏開発が進められている。総面積は、28万9,000平方キロメートル。域内人口（11年末）1億7,900万人、全国の13.3%を占める。

●中原経済圏は、3つの変化（工業化、都市化、農業現代化）を取り入れ、①食糧生産モデル地域の創設、②豊富な鉱物資源を利用した産業の育成、③物流機能、産業の育成と発展を目指す。



中部6省で貿易額が一番大きい

【河南省貿易推移】



フォックスコンiPhone工場設立年、以降貿易額は急増

●河南省は中部6省で最も貿易額が大きく、14年の貿易額は649億ドル（前年比7.5%増）。うち、輸入は256億ドル（前年比6.1%増）、輸出は393億ドル（前年比8.4%増）であった。

●河南省が貿易額で中部をリードするようになったのは、10年に竣工したフォックスコン鄭州工場の役割が大きい。同社はiPhoneの組立・製造を行い世界各国・地域へ輸出する。

●鄭州市は河南省の貿易額の7割を占める。14年の貿易額は464億元（前年比8.6%増）、うち輸入は198億ドル（前年比11.9%増）、輸出は266億ドル（前年比6.4%増）であった。最大の輸出国は米国で全体の41%、2位はEU17%、3位は日本で11%を占め、これらの国・地域で鄭州市の輸出の7割近くを占める。

【中原経済圏を支える開発区】

河南省には9つの国家級経済技術開発区と4つの国家級ハイテク技術産業開発区がある。これらの開発区は10の都市に分散しており、鄭州と洛陽、安陽には両方が配置されている。



- | 国家級経済技術開発区 | 国家級ハイテク技術産業開発区 |
|---------------|----------------|
| ①鄭州経済技術開発区 | A:鄭州高新技术産業開発区 |
| ②開封経済技術開発区 | B:洛陽高新技术産業開発区 |
| ③漯河経済技術開発区 | C:安陽高新技术産業開発区 |
| ④鶴壁経済技術開発区 | D:南陽高新技术産業開発区 |
| ⑤許昌経済技術開発区 | |
| ⑥洛陽経済技術開発区 | |
| ⑦新郷工業園 | |
| ⑧林州紅旗渠経済技術開発区 | |
| ⑨濮陽経済技術開発区 | |
- (出所: 河南省投資ガイド2013)

鄭州市の概況



●河南省の省都鄭州市は、市内に6区5市1県を有する。面積は7千km²。この内中心部の面積は1千km²（全体の13%）。人口は938万人。

●主要産業には、①自動車、②電子関連、③食品、④鉱物（石炭・アルミニウム）関連のほか、⑤設備製造、⑥アパレルなど6大産業を有する。

①自動車産業：東風日産の鄭州工場や、アジア最大の大型車輛メーカー（宇通集団）がある。14年に河南省で生産された自動車は56万台、このうち鄭州市の生産量は50万7,000台と省全体の91%を占める。

②電子関連産業：フォックスコン鄭州工場（10年8月竣工）がある。同社は主にiPhoneの組み立てを行っており、12年のiPhone5の輸出台数は9,000万台、全世界の70%を同工場で生産した。

③食品産業：特に冷凍食品が強く、国内生産シェアは40%といわれる。大手の冷凍食品メーカー、三全食品、思念食品がある。

④鉱物（石炭・アルミニウム）関連産業：同市で生産される酸化アルミニウムの産出量が全国の50%を占めるといわれる。

●市内には国家級開発区『鄭州高新技術産業開発区』『鄭州經濟開發区』があり、東風日産（鄭州工場）は鄭州經濟開發区に進出している。

●現在進出している日系企業は41社、主要な日系企業には、自動車産業が多く、日産自動車、日立物流、日立化成、日本発条、鬼怒川ゴム工業などがある。

地下鉄：東西を通る1号線は13年末に開通、南北を通る2号線は15年末に開通予定。20年を目処に、8路線を建設する計画。

【鄭州から主要都市までの距離】

| 都市 | 鉄道距離 | 高速鉄道時間 | フライト時間 |
|-----|---------|-------------------------------------|--------|
| 北京 | 680km | 約3時間（時速約300km） | 1時間半 |
| 武漢 | 536km | 約2時間（時速270km） | - |
| 長沙 | 898km | 約3時間半（時速約260km） | 1時間15分 |
| 上海 | 990km | 約7時間（時速約250km） | 2時間 |
| 広州 | 1,600km | 約6時間（時速約300km） | 2時間 |
| 深セン | 1,898km | 約7時間（時速約300km） | 2時間 |
| 重慶 | 1,390km | 約7時間（時速約350km） （鄭渝高速鉄道2015年着工） | 1時間半 |
| 成都 | 1,166km | 約5時間（時速約250km） （西成高速鉄道2017年開通予定） | 2時間 |
| 西安 | 505km | 約2時間（時速約250km） | - |

物流

中原經濟圏のハブ機能として期待される

『鄭州航空港經濟綜合実験区』

●中原經濟圏は、①農業②鉱物資源産業③物流の発展が目指される。このうち、鄭州市は同經濟圏の物流ハブ機能としての役割が期待され、13年3月、『鄭州航空港經濟綜合実験区』建設が国务院で批准された。同実験区は、新鄭国際空港付近の新鄭綜合保税區を中心とする航空經濟都市を建設し、航空、高速道路、鉄道などの交通インフラの利便性を活かし、国際航空物流、総合物流など現代サービス業を発展させるもの。域内には約415km²の物流港を建設する計画もある。

●鄭州市では3つの高速鉄道（うち1つは建設中）が通過するほか、13年7月には鄭州からドイツハンブルグまでの貨物列車が開通するなど、物流ハブ都市に向けて着々と準備が進んでいる。



鄭州からハンブルグまでの貨物列車開通式典の様子（13年7月）

鄭州市の所得の発展段階

内陸の主要都市の所得は2009～2012年の上海市に相当

2014年 都市部住民1人当たり可処分所得において、現状の鄭州市は2009年の上海市に近い水準。2013年時点では上海市の2008年の水準であったが、1年間進んだ。

(単位：元)

＜主要都市1人当たり可処分所得の発展段階（都市部、2014年）＞

